



GUIDEBOOK 2023



DOSHISHA INTERNATIONAL
JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

DOSHISHA INTERNATIONAL

JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

同志社国際中学校・高等学校

〒610-0321 京都府京田辺市多々羅都谷60-1 [tel] 0774-65-8911 (代表)
http://www.intnl.doshisha.ac.jp [fax] 0774-65-8990



同志社国際中学校・高等学校

History and Profile



新島 襄 (1843~1890)

創立者新島襄と 同志社の軌跡

同志社の創立者である新島襄は当時鎖国していた日本にありながら、海外へと思いをはせ、1864年、国禁を犯し渡米。留学中、キリスト教と教育について考えを深めた新島は帰国後の1875年に当時の京都府顧問であった山本覚馬、宣教師ディヴィスとともに同志社の原型である官許同志社英学校を京都の地に開校しました。そして同志社は新島の建学の精神を受け継いだ生徒、学生、教職員によって歴史の手を紡いできました。卒業生は、日本のみならず世界各地、様々な方面で活躍しています。

沿革

- 1875年 同志社英学校開校
- 1920年 同志社大学開校
- 1980年 同志社国際高等学校開校
- 1988年 同志社国際中学校開校
- 1997年 コミュニケーション・センター完成
- 2015年 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 採択校となる
- 2020年 同志社国際中学校・高等学校40周年
文部科学省指定WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)事業拠点校となる

 **150**th
1875-2025 ANNIVERSARY



DOSHISHA INTERNATIONAL
JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

同志社の創立者新島襄の精神に基づく、
世界に目を向けた「良心」ある
人物の育成をめざす

新島襄のめざした同志社教育の原点は「良心」です。
「一国の良心」ともいうべき人物を養成するための
同志社の教育理念、それは
「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」です。

Contents

- 03 帰国生徒と国内一般生徒との共習
- 07 数字で見る同志社国際
- 09 同志社国際はこんなところ
- 11 同志社国際での学び
- 13 同志社国際中学校の特徴
- 15 同志社国際高等学校の特徴
- 17 CLUB ACTIVITIES / SCHOOL EVENTS
- 19 国際プログラム
- 21 卒業生の声
- 23 校内施設 / 学寮
- 25 学校説明会 / 校長メッセージ・アクセス

Find Yourself, Love the Differences

神と私、あなたと私、世界の中の私。
同志社を支える3つの教育理念が、私たちを育みます。

キリスト教主義

Christian Principles

新島襄が建学の精神の柱としたキリスト教に基づき、一人ひとりを大切に
する教育をおこなうことで、生徒それぞれが持つ世界観、価値観が豊
かに形成されることをめざします。

自由主義

Liberalism

新島襄は、自立していること、自由であることを尊重しました。誰よりも
「自由」の価値を重んじた新島の精神は、自発的に行動し、自分の力を発
揮できる人物を育てる豊かな学びの土壌となっています。

国際主義

Internationalism

自ら世界で学んだ新島襄のように、異なる価値観を受け入れ、
そこから何かを見いだすことのできる、真の国際人の育成をめざします。

Traveling together from the starting point of differences.

帰国生徒と 国内一般生徒 との共習

Returnee students and students
who grew up in Japan study together.

すべての生徒が同じ知識を学習しているわけではなく、個々に、さまざまな文化的背景を擁しています。私たちはそれらを尊重したうえで、帰国・一般のへだてなく同じクラスで学ぶ「共習」を実施しています。この空間の中で刺激しあい、相互に日本と世界を理解・認識し、グローバルな感覚を自然と身につけてほしいと考えています。

同志社国際の帰国生

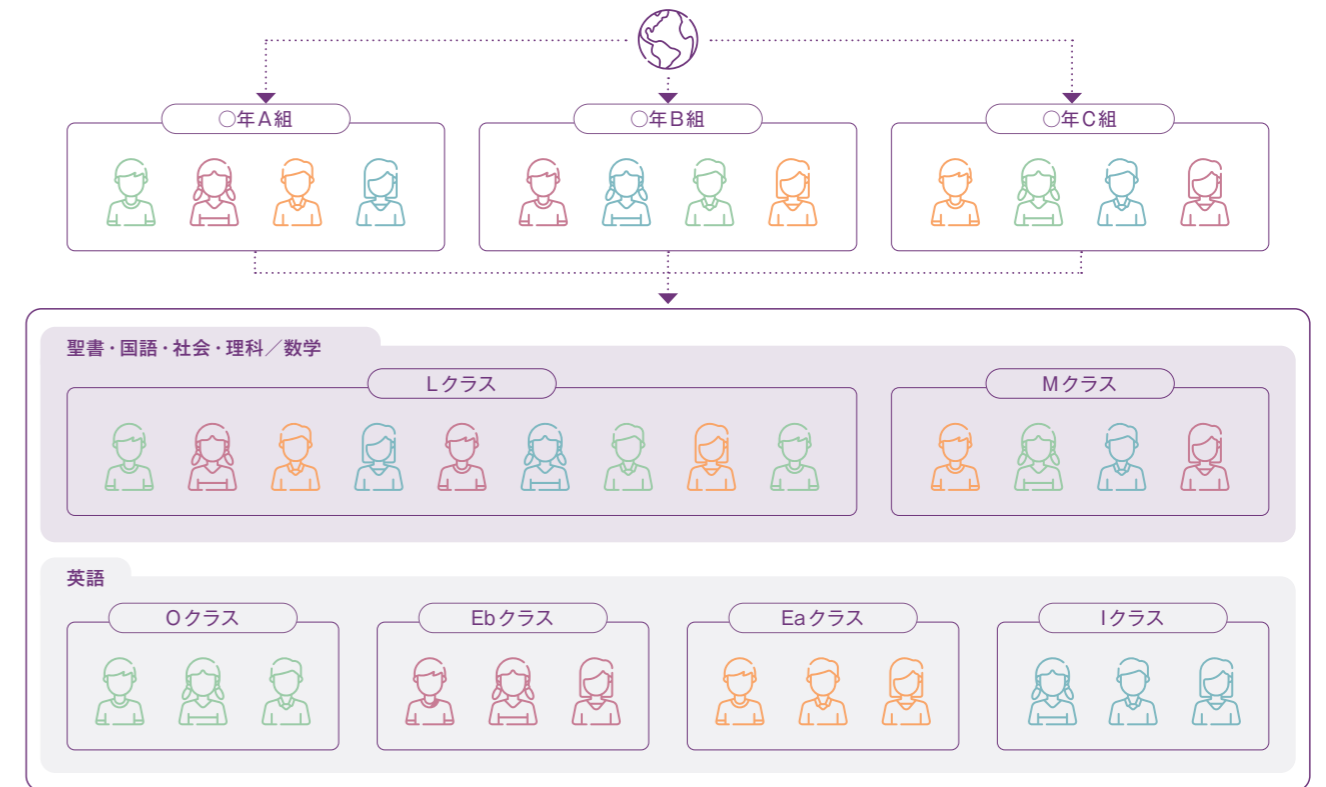
本校の生徒は、3分の2が海外での生活経験がある「帰国生徒」、そして3分の1が「国内一般生徒」です。帰国生徒と国内一般生徒は同じ教室で学び、お互いの文化を理解・認識し、刺激し合いながら、グローバルな感覚を身につけています



習熟度別のクラス

>>詳しくはP12へ

帰国生徒と国内一般生徒とは、受けてきた教育内容が異なります。本校では、さまざまな環境で教育を受けてきた帰国生徒に対応するために、生徒一人ひとりの入学までの学習状況や入学後の習熟度合いに応じた習熟度別のクラス編成を行っています。



グローバルな学習環境

>>詳しくはP19-20へ

さまざまな異文化体験を持つ帰国生徒が多数在籍する本校では、日々の学校生活が国際理解への一つのきっかけとなっています。そのような環境の中で身に付けた感覚をより発展させていくためにも、開校以来つくり上げてきた国際ネットワークの下、一人ひとりのバックグラウンドや学力、語学レベルに応じて参加できる独自のプログラムを設定しています。

留学生受け入れ数

本校では、姉妹校・提携校からの交換留学生を受け入れており、校内での国際交流を図っています。他に、法人団体などからも留学生を受け入れています。留学生には特別の時間割を設けて、日本語科の教員による日本語指導なども行っています。



オンラインでの取り組み

コロナ禍において海外との行き来が制限されるなか、提携校との連携を維持する意味でもオンラインによる交流を企画し、その中でさまざまな取り組みを実施しています。



豊富な留学制度

■ 短期留学

主に長期休みの期間を利用し、それぞれの目的や語学レベルに合わせて様々なプログラムを実施しています。



■ First Semester 留学

勉学を目的として、海外の外国学校（現地校、インターナショナル・スクールなど正規の教育機関）に在籍し、高校2年生の1学期間の海外留学をすることができます。



■ 長期留学

勉学を目的として、海外の外国学校（現地校、インターナショナル・スクールなど正規の教育機関）に在籍し、1年間の海外留学をすることができます。



違いという共通点からの出発



在住国 70ヶ国以上

在学生が在住した国の総数になります。

イギリス / イタリア / オーストラリア / オランダ / スイス / スウェーデン / スペイン / チェコ / ドイツ / ハンガリー / フィンランド / フランス / ベルギー / ポーランド / ロシア / アラブ首長国連邦 / イスラエル / インド / インドネシア / カザフスタン / 韓国 / カンボジア / サウジアラビア / シンガポール / タイ / 台湾 / 中国 / トルコ / フィリピン / ベトナム / 香港 / マレーシア / ミャンマー / オーストラリア / ニューゼaland / アメリカ / アルゼンチン / カナダ / コスタリカ / ブラジル / ベネズエラ / ペルー / ホンジュラス / メキシコ / アンゴラ / ウガンダ / エジプト / エチオピア / ケニア / ザンビア / 赤道ギニア / セーシェル / タンザニア / 南アフリカ / モーリシャス / モロッコ

① 経歴 ② 出身校 ③ 滞在国



井上 創 さん 高校生

- ① 11歳～14歳 フィンランド
- ② 草津市立新堂中学校
- ③ フィンランド



麻生 史乃 さん 高校生

- ① 6歳～10歳 アメリカアラバマ州、11歳～14歳 カザフスタン
- ② QSI International School of Astana
- ③ カザフスタン、アメリカ



ンバ 真陽佳 さん 高校生

- ① 5歳～15歳 赤道ギニア
- ② Colegio Español
- ③ 赤道ギニア



今村 莉菜 さん 高校生

- ① 4歳～7歳 アメリカ、11歳～14歳 ペルー
- ② Colegio Franklin Delano Roosevelt、The American School of Lima
- ③ ペルー、アメリカ



フォーク 黒田 レイモンド 豪 さん 中学生

- ① 0歳～日本
- ② 神戸市立摩耶小学校
- ③ 日本



矢尾板 莉子 さん 中学生

- ① 11歳～13歳 アメリカ
- ② 京都市立下京中学校
- ③ アメリカ

数字で見る 同志社国際

In Numbers



寮生徒数

約90名

高校生は資格を満たせば寮で生活し、通学することが可能です。寮は学校に隣接しており、寮務センター教員や、寮監・寮母によるきめ細やかな指導がおこなわれます。



コミュニケーションセンター
蔵書数・洋書数

蔵書

約60,450冊

洋書

約9,900冊

蔵書は借りることもでき、センター内でDVDを見ることもできます。センターではリサーチやプレゼンテーションなどの授業も多くおこなわれています。



編入試験入学者数

約30名

中学1年生から高校2年生までを対象に編入試験を実施しています。編入試験は冬(12月・1月・2月)と夏(8月)におこなわれます。



海外経験のある
教職員の割合

全教職員(専任) 43%

外国語科(専任) 100%

約半数の専任教職員が1年以上の海外在住経験をもち、外国語科教員は全員、1年以上海外の教育機関で教育を受けています。



大学進学率

約100%

同志社大学・同志社女子大学をはじめ、海外大学、国内の国公立大学・私立大学にほぼ全員の生徒が進学します。



帰国生徒数 (2022年度)

676名

全校生徒の半数以上が海外経験をもつ「帰国生徒」です。帰国生徒は、様々な国や地域、そして現地校、日本人学校、インターナショナルスクールなど様々な種類の学校から帰国してきます。



学べる外国語

6カ国語

英語の他にもドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語のクラスを設置しています。
(※高校からは初習も可能です。)



TOEFL® 受験者数 (2021年度)

947名(78%)

1年に1回校内英語試験を実施し、実用英語技能検定(2級まで)とTOEFL®を受験します。約8割の生徒はTOEFL®を受験します。



受験生の最終滞在国

約50カ国

アジア、オセアニア、南北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカなど世界中の国・地域から受験生が集まります。入学試験は京都、シンガポール、ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドンで実施されています。
(※2022年度入試は、海外では実施しません。)



受験可能言語

無限大

A選考の作文・小論文試験は「海外生活で修得した外国語®」で受験できます。
(※「海外生活で修得した外国語」とは、在住国、または在籍学校で日常使用されている言語のことです。)

同志社国際はこんなところ

同志社国際について学年・クラスを越えたグループでディスカッションしてもらいました。



同志社国際でのキリスト教教育

メンバー

田村 綾夏さん / 中村 陽奈さん

同志社国際では、毎朝の礼拝や聖書の授業を通してキリスト教の考え方に触れることができます。聖書の授業では、聖書の教えだけではなく、創立者新島襄についても学びます。その学びの中で同志社の教育理念である「良心」への理解が深まります。キリスト教の考え方をどのように解釈し自身の生活に取り入れるかは生徒それぞれによって異なります。様々なバックグラウンドを持つ生徒一人ひとりに寄り添い、聖書の教えからなる「良心」を育むことができるのが同志社国際のキリスト教教育だと思います。



同志社国際の第二外国語クラス

メンバー

大須賀 未歩さん / 北岸 歩佳さん / 石丸 鈴さん

本校特有の第二外国語のSクラスは、和気あいあいとした雰囲気が特色です。そのため編入生や高校から参加しても、分け隔てなくオープンにお互いを教え合うことができます。少人数のクラスが多く、ネイティブの先生との会話中心の授業は現地にいるような気分になります。授業を「受ける」のではなく、先生と生徒一人ひとりが「共に作る」という方が相応しいです。楽しみながら語学を学ぶことで、コミュニケーション力を高め、日々成長していくことができます。

同志社国際での「帰国生」

メンバー

立田 理人さん / 小林 歩海さん /
鳥原 凜々果さん / 中嶋 理博さん
畑尾 郁仁さん

今まで育ってきた環境や、生活してきた環境が「一人ひとり違う」ということは同志社国際では当たり前です。だから、それぞれがお互いに刺激しあいながら成長できる環境があると思います。ここでは日本の他の学校とは違い、「帰国生」という存在は特別ではありません。それぞれが、この学校でどのように「特別な」存在になるのか…。この学校に入学してからは、それを意識しながら生活することが大切だと思うようになりました。



同志社国際の英語 (Oクラス)

メンバー

長尾 稜さん / 小野 夏蓮さん
井上 創太さん / 麻生 広乃さん /
疋田 真祐子さん / 廣田 拓海さん

In English O Class, together with approachable teachers, you can maintain your English skills while advancing them even further. We learn using the same textbooks that native speakers use and explore many complex topics relating to English. In addition, active learning is a major part of the curriculum, and students are encouraged to join class discussions and voice their opinions freely. It is an all-English environment, which you can only find here in O Class.



同志社国際の良いところ

メンバー

田伏 彩花さん / 永井 伶弥さん /
藤井 千春さん / 庄林 夏希さん

同志社国際には、体育祭、文化祭などの一般的な行事に加え、浴衣を着て過ごす日本文化の日や仮装して授業を受けるハロウィンなど、珍しいイベントが多くあります。また男女の仲も良く、クラスも明るい雰囲気となっています。世界各国からの帰国生も大勢いるため、違うバックグラウンドを持つ生徒同士が多様な文化を認め合い、一人ひとりの個性を大切に、とても楽しい学校生活を送ることができます。



一般生から見た同志社国際

メンバー

高橋 那奈さん / 中村 愛海さん / 西村 愛結さん /
千田 倫士さん / 折坂 月帆さん
高木 大豪さん / 吉田 一郎さん

この学校の魅力は、やはり帰国生が多いことだと思います。それは私たち一般生にとってはとても貴重な存在です。日常的に、英語をはじめとした様々な言語が飛び交っているため毎日がとても刺激的です。また、帰国生の子達は経験してきたことや育った環境が皆大きく違います。彼らのこれまでの経験を聞くと「自分と同じ歳でも、見てきた世界がここまで違うのか」と圧倒させられ、私たちの視野がとても広がります。

同

受けてきた教育内容に合わせた
習熟度別クラスの編成でこれからの成長をフォロー

志

社

国

際

で

の

学

び

国語、数学、理科、社会、聖書（宗教）

生徒の状況に応じて教材等柔軟に対応できるように大人数のクラス（Lクラス＝large）と、少人数のクラス（Mクラス＝mini）に分けて授業を行っています。（高校は情報・保健も習熟度別クラスを実施）

Lクラス

通常の授業形式。1クラスあたり30人程度で授業を行うクラス

Mクラス

未習熟分野があったり、日本語が不安な生徒たちによりきめの細かい指導を行うクラス

英語

生徒の幅広い英語力に対応するため、習熟度を中学校で6段階、高校で4段階に分けてクラス編成をしています。中学校・高校とも、クラスは固定ではなく移動する生徒もいます。

O (Outlook)

英語の学習経験が十分にある生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってOa・Obに分けられています。

E (Experience)

英語の学習経験が少しある生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってEa・Ebに分けられています。

I (Interest)

英語の学習経験がない、または少ない生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってIa・Ibに分けられています。

O (Outlook)

英語を主要言語とする国、もしくは英語が主要言語であるインターナショナルスクールで長期間学習してきた生徒を対象としています。四技能において高い英語運用が可能であり、英語で論理的に自分の考えを述べたり書いたりすることが出来る生徒を対象とし、授業はすべて英語を用いて行われます。

Eb (Experience b)

海外で生活経験があり、英語に触れる機会があった生徒を対象としたクラスです。また海外での日本人学校や日本の学校に通っていた生徒の中でも、留学プログラム等により英語に触れる機会が多かった生徒も対象としています。英語の四技能において十分な力を有しており、授業は英語で行われます。

Ea (Experience a)

海外で生活経験があるが、英語に触れる機会が少なかった生徒を対象としたクラスです。また海外での日本人学校や日本の学校に通っていた生徒の中でも、留学プログラム等により英語に触れる機会が多かった生徒も対象としています。英語の四技能において基礎的な力を有している生徒が対象で、授業は英語で行われますが、必要に応じてきめ細かい指導を行います。

I (Interest)

一般生徒・帰国生徒に関わらず、英語に触れる機会が限られていた生徒を主な対象としたクラスです。英語の四技能において基礎的な力を持っていて、更にきめ細かい指導とサポートを必要とした生徒を対象としています。授業は生徒の理解の程度に応じて英語で行うことを基本としています。

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国朝鮮語

各言語においてそれぞれ経験者クラスと初めて学ぶクラスを設置しています。経験者クラスはその言語を学習または使用していた経験のある生徒向けです。定期的に外国語に触れる時間があることは帰国生徒にとって大きな意味があります。

中学校

各言語とも、海外でその言語の学習経験のある生徒が選択できます。様々な言語を話せる仲間たちとより高いモチベーションで外国語学習に取り組むことができます。

高等学校

初めて学ぶクラスは1年生で入門から始め、最大3年間学習することができます。英語以外にさらにもう一つ外国語を学ぶことにより、言語だけではなく多様な外国文化を学ぶきっかけにもなるでしょう。

日本語

海外生活が長いいため特に日本語の指導を必要とする生徒に対しては、特別なカリキュラムでサポートします。



選択科目 Electives

関心のある分野をより深く学ぶ多様な選択科目の設置

1・2年生ではそれぞれ2単位の語学科目を選択し、2年生時には2単位、3年生時には7単位の選択科目を設置しています。生徒一人ひとりが自分の興味・関心に応じた授業を選択することで自身の思い描く将来への学びを実現します。

高1 語学選択枠		高2 選択枠		
フランス語	ドイツ語	人文社会科学系科目	自然科学系科目	その他
スペイン語	中国語	キリスト教学入門	数学B (理系希望選択必修)	日本語Ⅱ (指定者)
韓国朝鮮語	日本語Ⅰ	宗教学入門	数学演習Ⅰ	スポーツパフォーマンス (男女)
		文学	化学 (理系希望必修)	美術Ⅱ
		現代の政治経済		音楽Ⅱ
		公共 (指定者)		書道Ⅱ
		English Elective (5講座)		情報Ⅱ
		仏独西韓中国語Ⅱ (各G/S)		選択家庭
				Sustainable Society Research
				知の研究
				プロジェクト研究Ⅰ

高3 選択枠					
人文社会科学系科目		自然科学系科目		その他	
3単位	2単位	3単位	2単位	3単位	2単位
キリスト教学	表現研究	数学演習Ⅱ	数学B	プロジェクト研究Ⅱ	日本語Ⅲ (指定者)
宗教と現代社会	地域研究京田辺	化学 (理系選択必修)	数学C (文系)		スポーツ学
探究文学	現代社会講座	選択物理 (3単位)	数学研究		スポーツパフォーマンス (男女)
テーマで学ぶ世界史	English Elective (2講座)	選択生物 (3単位)	代数・幾何入門		芸術美術
テーマで学ぶ日本史	情報社会研究	地学基礎	物理演習 (2単位)		芸術音楽
国際政治研究	仏独西韓中国語Ⅲ (各G/S)		情報科学研究		芸術書道
経済研究					食と文化
English Elective (4講座)					被服実習
仏独西韓中国語アドバンス					地球環境学
					心理学
					哲学
					Sustainable Society Design

問題解決型学習を実践します

本校は2020年、文部科学省よりWWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアムの拠点校に指定されました。このプロジェクトでは「持続可能な都市の構築(SDGs #11 住み続けられる街)」を題材とし、国際共同研究を通じたグローバルな人材育成を目標としています。具体的には国内外の連携校、企業、地方自治体や国際機関と協業し、グローバルな社会課題の解決をめざします。高校1年生では全員必修科目のSSSを実施し、外来講師の講演や、様々な国、地域から集まった生徒たち自身によるグループディスカッションなどを通じて、基礎的な知識の習得と問題解決型学習の基本を学びます。高校2・3年生では自由選択科目のSSR、SSDをそれぞれ開講。連携校の生徒と共に実施するフィールドワークや国際会議の企画・運営を通じて、複雑な社会事象に対しても、新たな価値を創造し主体的に行動できる力を養います。



高大連携による教育

大学学部説明会

高校3年生対象に同志社大学、同志社女子大学による進路に向けた説明会を積極的におこなっています。高校1・2年生が参加できる説明会もおこなっています。

理工学部体験学習会

理工学部の実験設備を利用した実験を体験するなど、実際の大学の施設を訪問して学習します。様々なテーマが準備されており、最新の研究に触れることができます。学部卒業生による講演もあります。また、中高生の女子対象にガールズサイエンスキャンプやガールズサイエンスカフェなども開催されています。

大学公開授業

同志社大学の学部による授業公開に参加することができます。授業だけでなく企業の担当者による特殊講義への参加や国際商事模擬仲裁 (VIS MOOT) 日本大会の観戦も可能であり、高校在学中から進路に向けて視野を広げることができます。

基本商学簿記講座

商学部教員による、高校3年生向けの日商簿記検定試験3級対策講座です。簿記を学ぶことで、企業の経理業務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力なども身につきます。

大学入学準備講座

大学の様々な学部の教員により、それぞれの専門分野で扱う学問の内容から選んだ高校生にも身近なテーマについて、高校生対象の授業がおこなわれます。実際の大学の講義と同じ形式で、大学での学びを体験することができます。

大学教員による授業

高校3年生に設置している「哲学」「心理学」「環境学」は大学の教員が担当しています。どの科目も例年多くの生徒が希望し、受講生徒は知的好奇心に応じた深い学びを進めることができます。

スケジュール (高校3年生)

1学期			2学期		3学期	
4月	5～6月	6月	11月		1月	2～3月
第1回進路説明会	大学学部説明会	第2回進路説明会	第4回進路説明会/最終進路希望調査		推薦入学試験	大学入学前教育
7月						
第3回進路説明会/保護者面談						



同志社国際 中学校

Junior High School

同志社精神に基づき、学びの基礎を固める。

帰国生徒と国内一般生徒の共習を実施するなかで、生徒一人ひとりに合わせた習熟度別授業を採用。各自の能力を十分に発揮できる環境で、学習指導要領にしたがってしっかりと学びます。



PICK UP

● Mクラス



先生方は丁寧にゆっくりと授業をすすめてくれます。自分の日本語に自信がなくても少人数クラスなので質問もたくさんできます。授業時間以外でも先生方はすべてを理解するまで、説明したり、質問に答えたりしてくれます。周りの生徒も同じような海外在住経験を持ち、一緒に励まし合いながら頑張って勉強ができます。Mクラスの授業を通して、Lクラスに移っても授業についていける自信がきます。

入道 優さん
重村 乃絵瑠さん / 爰保 征士朗さん / 北村 季亜奈 ケルトナーさん

● 第二外国語



語学選択のGクラスでは、専門的な知識を持った先生方やネイティブの先生方から、文法の基礎知識だけでなく、その言語文化を映像や簡単なアクティビティなどを通して体系的に学んでいきます。受講者の学習レベルに応じて初心者にもやさしい設定となっていて、難解な文法も噛み砕いて理解ができます。また、定期的な小テストで日々の成長を確かめられます。そんな同志社国際のインタラクティブな語学講座は他では体験できない貴重な経験ができる場だと思います。

平 健太郎さん / 平田 陽人さん
深谷 哲平さん / 辻 陵太さん

ONE DAY 1日のスケジュール

※昼食にはカフェ・売店も利用できます。 ※完全下校18:00



8:20

登校



8:30~8:45

礼拝



9:00~

授業(午前)



12:50~

昼休み



13:40~

授業(午後)



15:30~

HR・清掃

STUDENT VOICE

毎日の授業や会話を通じて様々な視点を持てるようになりました

社会科で扱う問題などに関して、この学校では授業後や何気ない会話の中で、世界中の様々な国から帰国した友人の体験談を聞くことで、考えなくてはいけない身近な問題ととらえるようになりました。ニュースを見聞きするときなども、様々な国や人の立場を考える姿勢が身に付いたと思います。


山田 陽生さん

STUDENT VOICE

個性を尊重した校風や授業で視野が広がりました

英語の授業では、自分に合ったレベルで学ぶことができるので、英語を聞き取る力はもちろん、英語で自分を表現するスキルもたいへん向上しました。また、様々な国からの帰国生徒と共に学校生活を送ることで、それぞれの文化を知り、より広い視野で物事を見ることができるようになったと感じています。多様性を認め、生徒の自主性を尊重するこの学校だからできる友人との絆があります。

佐藤 小香さん



同志社国際 高等学校

Senior High School

進みたい進路へ向けて自分だけの学びを作る。

多様なバックグラウンドをもつ一人ひとりの生徒の学習歴に合わせて習熟度別授業をおこないます。希望の進路に向けた多様な選択科目の設置や高大連携を実施。大学受験にとらわれない自分だけの学びを実現します。

STUDENT VOICE

自身の興味を軸に学び、自分の将来をしっかりと考えられました

一日の始めにある礼拝の場では、そこで話される先生方のことばから、知識はもとより多くの知恵を学びました。3年生では受験科目にとらわれず、選択科目を決める際はとにかく好きな分野、気になった分野を選んで学びました。純粋な興味からの学びを大切にしつつ、自分自身の進路を模索、探求する時間を多く持つことができました。

緒方 佑玖 さん

STUDENT VOICE

帰国生徒とともに学ぶことで物事の捉え方に広がりを感じました

幅広い選択科目の中から学びたい分野を自ら選択することで興味を掘り下げ、将来の目標に必要な能力を伸ばすことができました。レポートやプレゼンテーション等では主体的に取り組み、身につけた知識を他者に発信・共有する力を養い、また多様な地域からの帰国生徒の経験や意見を聞くことで、切磋琢磨しあうことができました。それは、個人的な学習や講義型授業だけでは得られなかったであろう新たな発見の連続でした。加えて、国際機関の方のお話を伺う機会にも恵まれ、世界の事象を如実に感じ、物事を本質的に考えることができました。

内田 帆南 さん

ONE DAY 1日のスケジュール

※昼食にはカフェ・売店も利用できます。 ※完全下校 18:00



8:20

登校



8:30~8:45

礼拝



9:00~

授業(午前)



12:50~

昼休み



13:40~

授業(午後)



15:30~

HR・清掃

進路実績

国内の大学【指定校・指定校に準じる大学】	
国際基督教大学、上智大学、立教大学、青山学院大学、中央大学 ほか	

国内の大学【外部受験】	同志社大学					
	学部	2022	2021	2020	2019	2018
東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学、神戸大学、筑波大学、広島大学、金沢大学、福井大学、三重大学、鳥取大学、香川大学、琉球大学、東京農工大学、名古屋工業大学、電気通信大学、東京外国語大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、防衛医科大学校、大阪府立大学、大阪市立大学、横浜市立大学、兵庫県立大学、国際教養大学、金沢美術工芸大学、慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、東京理科大学、同志社大学、関西学院大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、関西大学、明治大学、法政大学、自治医科大学、京都薬科大学、神戸薬科大学、大阪薬科大学、京都芸術大学、大阪芸術大学、大阪音楽大学 ほか	神学部	0	0	1	1	1
	文学部	17	23	33	25	29
	社会学部	18	22	22	22	24
	法学部	39	44	35	48	47
	経済学部	24	26	22	26	26
	商学部	30	30	30	30	30
	政策学部	20	21	21	21	22
	文化情報学部	7	6	8	5	7
	理工学部	22	20	25	20	14
	生命医科学部	10	6	8	6	10
	スポーツ健康科学部	5	6	7	8	8
	心理学部	10	7	10	10	9
	グローバルコミュニケーション学部	5	6	6	5	5
	グローバル地域文化学部	9	10	10	10	10
	合計	216	227	238	237	242

学部	同志社女子大学				
	2022	2021	2020	2019	2018
表象文化学部	0	0	0	0	0
学芸学部	4	6	2	1	2
現代社会学部	0	5	1	2	1
生活科学部	0	1	1	1	0
薬学部	6	1	1	3	2
看護学部	1	3	1	2	0
合計	11	16	6	9	5

海外の大学

【アメリカ】
Binghamton University
Boston University
California State University, Fullerton
Clark University
Denison University
DePauw University
Loyola Marymount University
New York University
New York University Abu Dhabi
Northeastern University
Pennsylvania State University
Reed College

Rutgers University
San Diego State University
State University of New York
Smith College
Syracuse University
University of Hartford
University of Delaware
University of Connecticut
University of Washington

【オーストラリア】
Monash University
University of Queensland

【カナダ】
University of British Columbia

【イギリス】
University of St Andrews
University of Bristol

【オランダ】
University of Twente
University College Maastricht

【タイ】
マヒドン大学 (Mahidol University)

【ロシア】
チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院
(Moscow Tchaikovsky Conservatory)

【中国】
清華大学 (Tsinghua University)

SPORTS ACTIVITIES



運動部

アメリカンフットボール部(チャリダー併設) / 硬式野球部 / バスケットボール部 / ゴルフ部 / 剣道部 (中学時は経験者のみ) / ラグビー部 / サッカー部 / 卓球部 / テニス部 / 陸上競技部 / 女子バレーボール部

文化部

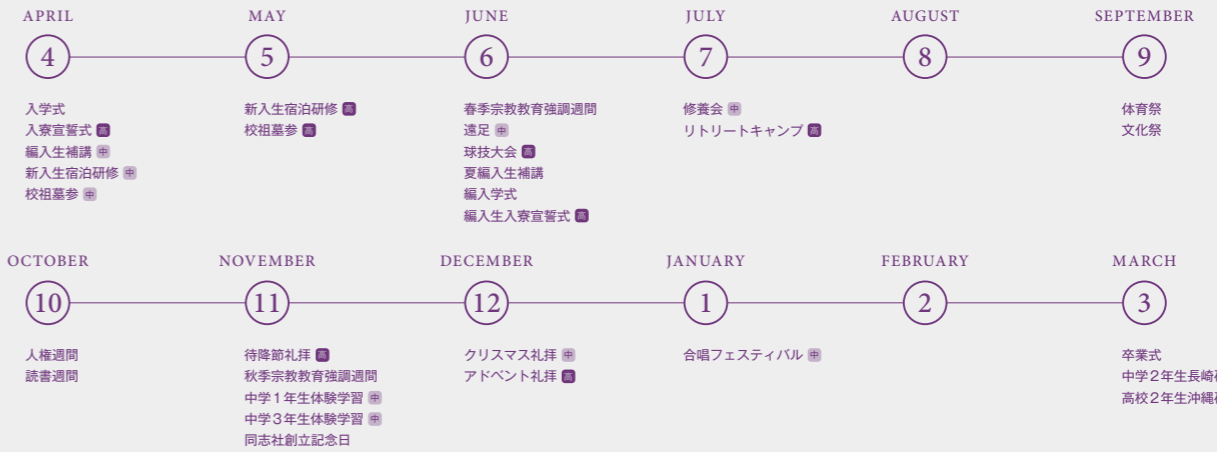
美術部 / 吹奏楽部 / 放送部 / 文芸部 / クッキング部 / ダンス部 / 演劇部 / ESS部 / キリエコーラス部 / MCI部 / MUN(模擬国連)部 / 写真部 / サイエンス部 / 書道部 / ボランティアサービス部



井澤 円来 さん / 吉川 夏生 さん / 北東 愛和 さん 高校生 北川 千裕 さん / 川井 みちる さん

STUDENT VOICE

同志社国際の部活動は中高生が互いに助け合い、幹部を始めとする部員全員が自主性を持って行動できるような環境作りを大切にしています。また多様なバックグラウンドを持つ生徒が同じ目的を持って集い、学校生活の大きな一部を共にするという特別な経験を通して、生徒たちは常識の違いなどから時にぶつかり合いながらも受け入れ合うことの大切さを学び、大きく成長する事ができると感じます。



堀 真彩 さん / 藪田 京太郎 さん / 佐藤 小香 さん / 上野 杏奈 さん

STUDENT VOICE

生徒会役員で協力して、学校生活がより楽しく充実したものになるように、文化祭などのイベントの企画をしました。私たちが話し合いを重ねて準備したイベントなどが上手いき、生徒の笑顔を見ることができた時にとってもやりがいを感じました。この生徒会活動を通して、責任を持つこと、協力することの大切さを学び、自分自身の成長へとつながりました。

SCHOOL EVENTS



国際プログラム

International Programs & Studies

多彩な留学プログラム

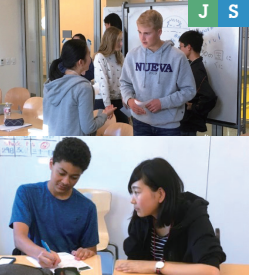
J 中学校から参加可能 **S** 高等学校から参加可能

**Phillips Academy
Andover Summer Session**




アメリカ東海岸マサチューセッツ州のボストン郊外にあるPhillips Academy Andoverは、卒業生の数多くをIVYリーグなどの大学に送り出している、新島襄も有名な名門私立高校です。このSessionは、世界各国から集まった参加者が寮生活をしながら、授業やアクティビティに参加します。SAT Prep Courseなども受講可能です。

**The Nueva Middle School 交換プログラム
The Nueva Upper School 交換プログラム**



アメリカ、カリフォルニアにある私立中学との交換プログラムです。この交換プログラムは、同志社の他の学校と共におこなっているもので、滞在中はホームステイをしながら、授業に参加し、様々なアクティビティに参加します。The Nueva Upper Schoolではシリコンバレーの企業訪問もおこないます。

**Smith College
Science and Engineering Program**




マサチューセッツ州ノーサンプトンにあるSmith College敷地内の寮で生活しながら授業に参加します。Smith Collegeの設備（実験室や生物室など）を利用してResearchをおこなう他、理系、文系問わず様々な科目の授業がSmith Collegeの先生により提供され、プールなども利用できます。

**Harvard University
Summer School (Secondary School Program)**



このSecondary School Programは高校生を対象としたプログラムですが、授業はハーバード大学の先生が担当し、生徒は200以上あるコースの中から2つを選択して受講します。大学敷地内にある寮で生活をしながら授業に出席し、大学の施設も利用可能です。単位認定試験で合格すると、大学の単位を取得できます。

**Boston
Summer Program**



ボストンでホームステイをしながら語学学校で学んだり、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学の学生と交流しながら勉強して、英語表現力を高めるプログラムです。日常会話にとどまらず、自分の意見を掘り下げて考え、的確に表現し、相手にわかりやすく伝える英語力をつけることが目標です。

**Summer Challenge Program
at Boston University**



ボストン大学のSummer Challengeに参加します。International PoliticsやBusiness、Psychologyなど20あるセミナーの中から2つを選び、世界各国から集まった高校生と一緒に学びます。講義やディスカッション、グループワークのほかにプロジェクト課題や校外学習にも取り組みます。

一人ひとりが選ぶ、世界での学び

帰国生徒と国内一般生徒がともに学ぶ同志社国際では、生徒一人ひとりが異なる生育歴や学習歴を持っています。本校では、それぞれの生徒が自分に合うプログラムを選択できるように、多様なプログラムを設置しています。生徒たちは留学の目的を明確にし、どの時期に、どのプログラムに参加するのが最適なのかよく考えて選択します。短期プログラムへの参加の他、高校2年生時のFirst Semester留学や、海外長期留学制度を使って1年間の長期留学をすることも可能です。

**Silicon Valley Innovation
Summer Camp**



College of San Mateoの協力による、本校独自のプログラムです。国際社会で活躍するために必要なInnovation StudyやDesign Thinkingを学び、モノづくりの基本を、ITの最先端に行くSilicon Valleyで活躍する企業人のレクチャーなどを通じて学びます。ホームステイのプログラムです。

**ドイツ
交換プログラム**



ドイツのロイトリンゲンにあるギムナジウムとの交流プログラムです。このプログラムでは、ギムナジウムを1週間訪問し、ホームステイを経験した後、ハイデルベルグやマインツなどの近郊を見学します。

Bay Area Pathways Academy




アメリカ西海岸カリフォルニア州のサンフランシスコ郊外にあるCollege of San Mateoで行われるサマーキャンプに参加するプログラムです。ホームステイをしながら、スポーツ、アートなど幅広い選択肢から自分の興味に応じたコースを作ることができます。

**École Jeannine Manuel
交換プログラム**



パリにあるこの学校はフランスの現地校とインターナショナル・スクールが併設された学校であり、フランスの帰国生徒受け入れ校でもあります。そのため生徒はフランス語、英語を使って交流することができ、ホームステイをしながらそれぞれの授業に参加します。午後や週末には、ルーヴル美術館やヴェルサイユ宮殿なども見学します。

**Spring Program
in New Zealand**



ニュージーランドを訪問する本校特別プログラムです。生徒はホームステイをしながら、現地の学校に通います。午前中は語学研修をおこない、午後は現地校に通う生徒がベアとなって、生徒たちと一緒に授業に参加してくれます。ニュージーランド独自の文化や自然に触れる体験プログラムにも参加します。

**First Semester
留学制度**

本校の高等学校2年生1学期の期間、海外の外国学校（現地校、インターナショナルスクールなど）に留学できる制度です。

海外長期留学制度

本校を休学することなく、1年間海外の外国学校（現地校、インターナショナルスクールなど）に留学できる制度です。帰国後は学年を落とすことなく進級できます。

STUDENT REPORTS

台北市VIS国際実験教育中等部とのオンライン交流



大塚 天心 さん

「うまくお互いの想いを伝え合えるのか？」交流前はこの文章が頭を過りました。しかし、そんな不安よりも彼らの興味深い発表と僕の好奇心が勝りました。このオンラインでの交流を通してお互い違った文化を感じる事ができました。学校の在り方の違いや、同志社国際の良さ、相手校の良さを実感し、とてもポジティブで充実した時間になりました。この交流を通して自分自身の視野や考え方を、様々な価値観に照らし合わせ、様々な視点からみる大切さを学びました。

Phillips Academy Andover Summer Session



旭 結衣 さん

このプログラムは、色々な国と地域から高校生が集まって同じ寮で生活し、海洋生物学・解剖学・宇宙物理学など、海外の大学生が受講するような興味深い授業を受けることのできるプログラムでした。特に社会心理学での夢の研究は印象深かったです。長い時間を寮の友達と過ごしたため、彼女たちの持つ価値観にふれることができました。それと同時に日本を客観視し、新たな発見があったと感じています。

Harvard University Summer School



山口 幸妃菜 さん

このサマースクールでは、各分野を牽引する大学教授の先生方のもとで専門性の高い高度な学びをすることができ、興味のある分野についての理解を深めることができました。コロナ禍でオンライン留学となりましたが、距離や時差を乗り越えて講義や課外活動を共にした世界各国の熱意と向上心に溢れる友人との交流に多くの刺激を受け、世界を舞台に活躍する将来像をより現実的に思い描けるようになりました。

First Semester 留学制度（オーストラリア）



中尾 雪菜 さん

同志社国際に入学し、それまで得意だった英語のクラスで、英語圏から帰国した友人の英語力に驚かされました。そのような友人のように、堂々と英語を話したいと思い留学を決意しました。留学先では、日本人がほとんどいない中で、楽しく英語を使う環境がありました。その結果、自分の英語力に自信を持てるようになりました。この経験を進学や将来へのモチベーションにして、様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

海外長期留学制度（ニュージーランド）



遠藤 恒樹 さん

現地での1年間はとても濃密な時間でした。当初は周囲とのコミュニケーションに苦しみましたが、最後には多くの友人が生まれました。現地でも続けたフェンシングでは、スポーツで言葉や文化の違う人とも分かり合えることを実感しました。留学に行くだけでは英語は上達しません。留学先の環境でどれだけ努力し、自分の殻を破れるかが鍵になります。私はこの留学を通して何事も努力すれば達成できるという自信を得ました。

海外の大学進学も

手厚くサポート

国際教育センターによる支援

全米のトップ大学や他国の有名大学への進学実績が毎年あります。カウンセリングから、準備手順の説明、リクレーターによる説明会実施、出願サポートまで総合的なサポートをおこないます。また、外来講師によるセミナーや、TOEFL® iBT 攻略ゼミの実施、アメリカの大学進学に必要なSATやACT受験のスケジュールリング・サポートなどもおこなっています。

卒業生の声

Messages from our Graduates

同志社国際での経験が創る、
世界に広がる活躍の場所。



GRADUATE VOICE

東京大学大学院
総合文化研究科、教授

広瀬 友紀 さん (1988年卒業)

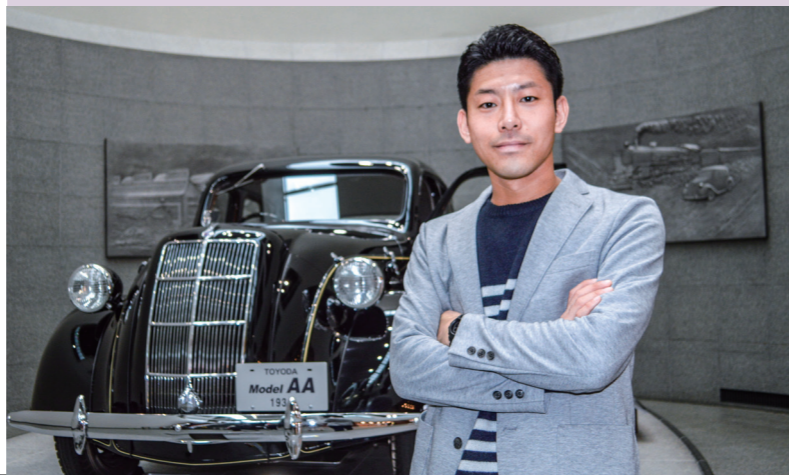
入学して肌で感じたのは「個の尊重」「自主自律」の空気です。クラスメイトの服装や髪型がどれだけ奇抜でも「それがどうした」然の先生方なのに、私が上靴の踵を踏んでるとしっかり注意されました。また「こだわりと情熱」。先生方は大学受験指導から自由なぶん、自分が心から伝えたいと考える知識と思いを熱く語ってくれました。その熱量に毎日触れていたことは今の自分の教員としての土台を作ってくれたのだと思います。そして今、年月を経て実感するのは、弱者に目を向け強者におもねらない、そんな国際高校での教育精神が自分の価値観にいかにか影響していたかということです。心から誇りに思っています。

GRADUATE VOICE

トヨタ自動車株式会社
IT部門

玉谷 威裕 さん (2001年卒業)

在学中、例えば部活動ではバックグラウンドの違いから異なる考え方をもつ同士、衝突もありました。ミーティングを重ね、目標を共有してまとめることができましたが、何かやりとげようと思うと話し合いを尽くさなければならないことを学びました。今は世界中のグループ会社で使うITシステムの開発に従事しており、4年間アメリカ赴任も経験しました。多国籍チームで仕事をするため、何を優先すべきか等一つの答えを出すことが難しい場面もありますが、そのようなときは良いものをつくろうという原点に立ち返り、諦めずコミュニケーションを取り、皆が納得いくものをつくっていきます。ここで学んだ既成の価値観にとらわれず、難しい場面でも明るく前向きに物事に取り組む姿勢は現在にも生かされていると実感しています。

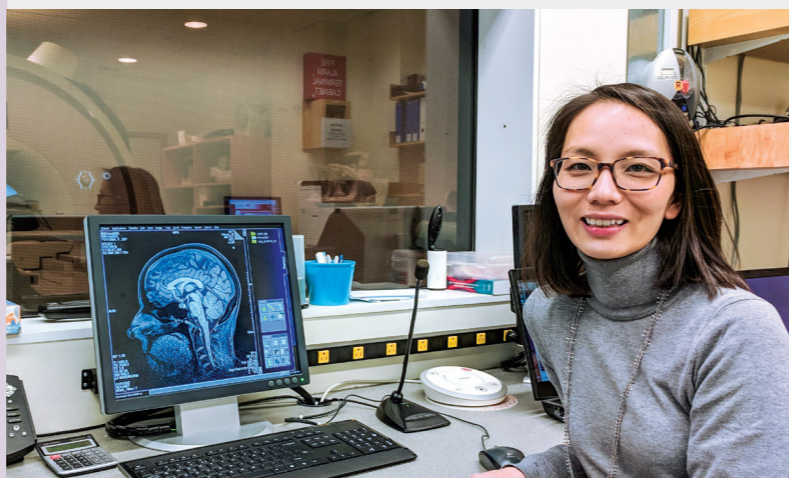


GRADUATE VOICE

Massachusetts Institute of Technology (MIT)
Brain and Cognitive Science Department, Research Scientist
マサチューセッツ工科大学
脳・認知科学学部、主幹研究員

岡野 加奈 さん (2001年卒業)

25年経った今でも鮮明に記憶に残っている授業があります。英語の授業でナゾナゾを出されたのです。次々とクラスメートがナゾナゾを解いていくなか、私は最後まで答えに辿り着けませんでした。その授業をはじめ、同志社国際に在籍していた6年間で学んだのは既存の考えにとらわれず、創造力を駆使し新しい解決策を探す力です。中高で得た頭の柔軟性は現在認知脳科学の研究をするにあたって日々活用する能力です。



GRADUATE VOICE

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
有人宇宙技術部門
宇宙飛行士・運用管制ユニット

関川 知里 さん (2005年卒業)

中学、高校でそれぞれ短期留学の機会をもらい、海外の人と交流する楽しさや仲良くなることの喜びを経験しました。「違う国の人も自分と同じように日常を生きている」と気づき、世界を見る目が変わりました。現在は「国際宇宙ステーション」に関する仕事をしています。国外の人と協力する場面が日々ありますが、仕事という交流を楽しみたいと思えるのは、国際での経験が生きているからだと感じます。在校中は「自由の裏にある責任」という言葉をよく耳にしました。社会で生きていくためにも本当に大事なことです。その理念の下、生徒の自主性をいつも尊重してくれた教育方針に今も感謝しています。



GRADUATE VOICE

The Office of the United Nations
High Commissioner for Refugees (UNHCR)
Refugee Status Determination (RSD) Officer
国連難民高等弁務官、難民認定担当

寺岡 沙弥 さん (1993年卒業)

9年前、NYでの弁護士業務の後、一念発起して、イラク、タイなどで国連の難民保護の仕事に就きました。このような世界に貢献したいという気持ちが確立したのは、中学時代かな、と思います。自分らしくいられた学生生活で得た自信が、自分の道を進む勇気の元となったのだと思います。スキー合宿で故郷に連れて行ってくれた、素晴らしい担任の野原先生との出会いもありました。そして、何より20数年経った今も続く友情は、同志社国際ならではの特別なものだと感じています。

GRADUATE VOICE

フェンディ・ジャパン株式会社
代表取締役社長

橘田 新太郎 さん (1988年卒業)

1992年に住友商事(株)に入社後、数々の新規事業立ち上げと現場での運営・経営を経験しました。現在はフェンディ・ジャパン(株)でCEOを務めています。CEOとしての事業経営も新規事業開発も、一見華やかに見えて、その実は雲を掴むような日々が続くこともあります。また、答えが見えないAMBIGUITY(あいまいさ)の中、リスクを伴う決断を迫られることも決して少なくありません。そのような状況下でも、自分なりに道筋をつけ、答えを導き出すことができているのは、本校での「答えは必ずしも一つじゃない」とする自由闊達な校風の中、個性を認め合い、多様性を醸成し、複雑かつ不確実な中でも道を切り拓くことができる人物を育む教育での学びが非常に大きかったと痛感しています。また、本校で出会った親友たちと今もお親交が深いのは、共に過ごした環境と時間がそれだけ特別なものであったからに違いありません。



GRADUATE VOICE

文部科学省
初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室

河野 大和 さん (2014年卒業)

同志社国際には世界数十ヶ国を飛び回っていた人から一度も日本を出たことのない人まで、多様な背景と価値観を持つ生徒が集まっています。この多様性を否定せず、個人々の意思決定を尊重する同志社国際の校風が大好きでした。校則もほとんどなく、やりたいことを自由にできる環境は、何をしても良い「freedom」ではなく、責任に裏付けられた「liberty」なのだ、ある先生からお聞きしたことが今も印象に残っています。こうした教育を受けるうちに、多様化が進むこれからの時代、一人ひとりが尊重され楽しく学べる環境を日本全国の学校で実現する必要があると考え、文部科学省を志すようになりました。現在は、同志社国際時代に抱いた思いを胸に、より良い教育の実現に向けて日々仕事をしております。



校内施設

Facilities

CAMPUS MAP

Information

バーチャルキャンパスツアーを体験いただけます。

A 新島記念講堂	H コミュニケーション・プラザ	▼コミュニケーション・センター
B 学寮	I 正門	
C テニスコート	J 中学教室棟(有隣館)	
D 高校教室棟	K フリースペース	
E 体育棟	L 部室棟	
F コミュニケーション・センター	M 体育館(望雲館)	
G 体育館(志遠館)	N グラウンド(人工芝)	

Facilities

<p>新島記念講堂</p>	<p>コミュニケーション・ホール</p>	<p>コミュニケーション・カフェ</p>
<p>コミュニケーション・プラザ</p>	<p>グラウンド(人工芝)</p>	<p>クリエイティブ・ゾーン (コミュニケーション・センター)</p>

学寮

Dormitory

帰国生徒受け入れ専門校ならではの
伝統ある教育寮

世界の様々な国や地域から集まった仲間との集団生活の中で、正しい生活習慣を養いながら、協調性や思いやりの心を学ぶことができる同志社国際の教育寮。仲間との絆を深めながら、自己を高められるこの場所で、生徒たちは人として大きく成長していきます。

入寮資格 高校生のみ。保護者が海外に在住、または自宅から通学が1時間30分以上かかる場合。(学校から3時間以内に保証人を設定する必要があります。)

京田辺市内の総合病院である京都田辺中央病院(医療法人社団石鐘会)が、本校の協力病院として寮生の健康もサポートしています。



STUDENT AND TEACHER MESSAGES



男子寮長
浅見 鞆 さん



女子寮長
古賀 しずく さん
藤田 美音子 さん

同志社国際の学寮の魅力は、何と云っても様々なバックグラウンドを持った人たちが、同じ屋根の下で暮らすことにあります。それぞれが経験してきた文化に触れる楽しさや海外で同じ地域にいた人とそこにしかないものについて語り合える嬉しさは、他ではなかなか味わえないことです。共同生活のなかで、ときには不満が出ることもあります。しかし、ここではそれを不満では終わらせません。一つの考えとして尊重し、皆で解決策を模索しより良い寮生活が送れるよう努めています。ここで得られる貴重な経験は大きな財産となるでしょう。

同志社国際での寮生活では、様々な国や環境で過ごしてきた人達との交わりを通して、新たな価値観を学ぶことが出来ました。また、掃除・洗濯をはじめ整理整頓やセルフコントロールのスキルが身につく、自然にそれぞれが「自立」をしていきます。ここでしか得られない貴重な経験があると感じています。(藤田)
私たちは同じ境遇の寮生として互いをサポートしあうことのできる寮を目指しています。家族の元を離れて暮らす事に誰しもが不安を感じますが、共に暮らしていくうちに、その仲間たちもまた新しい大切な家族となります。「様々な個性が交わる同志社国際で、寮生としてひとつになる。」かけがえのない青春の思い出を作りましょう。(古賀)

一人一人が違って当たり前。違いという共通点からの出発を、今年も100名近い生徒が本校の寮から始めます。今まで生きてきた環境も文化も全く異なる生徒達が集まり、ときにはぶつかったり、ときには慰め合ったりしながら、自分の居場所を見つけていく。そこで出会った友達たちは、きっとこれからもずっと良い関係が続いていくはずです。

生徒センター 寮務担当 国語科 春日 清彦 先生

寮生の一日のスケジュール

7:00 起床・朝食	→	8:00 登校	→	8:25 礼拝	→	9:00-15:30 授業
↑						↓
23:00 就寝						16:00-19:30 入浴・夕飯
↑						↓
19:30-23:00 生活・学習時間	←	19:30 点呼	←	19:00 門限		

寮生は寮の規則に基づいて日々の生活を送ります。

学校説明会

Information Session

同志社国際ではじまる新しい毎日に興味をもっている皆さん。

ぜひ、学校説明会やオープンスクールであなたの疑問や、感じることを教えてください。

私たちはいつでもあなたの想いと出会えることを楽しみにお待ちしております。

▼ 本校で開催する説明会 (2022年度)

国内(本校)で開催する学校説明会は、同志社国際中学校・高等学校の教育環境を直接ご覧いただける機会です。

オープンスクール	学校・入試説明会	
	帰国生徒対象	帰国生徒・国内一般生徒対象
6.4 Sat	7.16 Sat	8.6 Sat
	10.8 Sat	11.5 Sat

🌐 海外説明会 (新型コロナウイルス感染症の影響により2020～2022年度は中止させていただいております。)

来校が難しい海外在住の方のために、北米、アジア、ヨーロッパの各都市でも説明会を開催しています。本年度もオンラインでの個別相談を予定しています。

ヨーロッパ	アジア	北米
■ フランクフルト	■ ペナン	■ コロンバス
■ ミュンヘン	■ ニューデリー	■ シカゴ
■ デュッセルドルフ	■ シラチャ	■ ニューヨーク
■ ハンブルク	■ クアラルンプール	■ ワシントン
■ アムステルダム	■ バンコク	■ デトロイト
■ ロンドン	■ マニラ	■ トーランス
	■ シンガポール	■ アトランタ
	■ ジャカルタ	■ プリンストン
	■ バンコク	■ ニュージャージー

>> その他、国内(校外)の様々な説明会(オンラインを含む)に参加致します。詳しくはHPをご覧ください。

→ <http://www.intnl.doshisha.ac.jp>

学校見学・入試相談
お問い合わせ

帰国生徒の学校見学や入試・学校生活についての相談を随時受け付けております。
【email】center@intnl.doshisha.ac.jp 【tel】0774-65-8911(代)

校長メッセージ

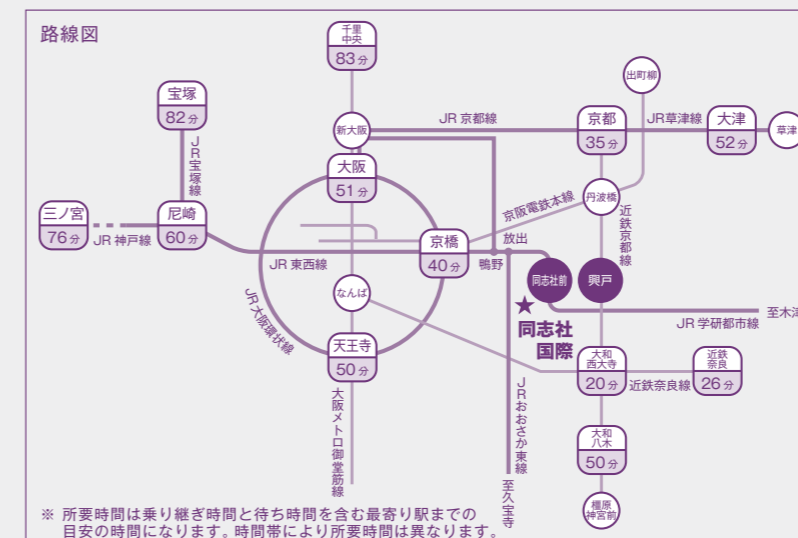
Message from the Principal



一人ひとりが異なる存在であること。誰もが異なった文化で成長し、自分自身を作り上げてきたこと。そして一人ひとりとはかけがえない存在であること。この当たり前のことを確認し続けることで、私たちの学校は成り立っています。ここでは、お互いの存在を尊敬をもって認め、日々自分の価値観を新しいものに更新していくことが求められます。「真理」を語る言葉に耳を傾け、借り物の国際性ではなく本物の多様性を受け入れたとき、人はほんとうの自立と、何ものからも束縛されない自由とを手に入れることができるでしょう。今あなたが手にしているのは、新しい自分を発見することができる、不思議な世界への招待状です。

同志社国際中学校・高等学校
校長 戸田 光宣

Access



DIVE

帰国児童が海外で習得した英語力を維持、伸長するための小学生対象のプログラムです。本校施設を利用し、本校の教育理念と教育システムを活用してすべての授業が英語で実施されています。

<https://www.dive-djhs.com/>